

[第5話] Access 2002プロジェクトとSQL Server 2000

リレーションシップが設定してあるので、テーブル間の結合線は自動的に引かれました。

⑨それぞれのテーブルで必要な列をチェックし、✓印をつけます。

Microsoft Access

SQL ステートメント: クエリ

⑨

⑩

⑪

列	別名	テーブル	出力	並べ替えの種類	並べ替え順序	抽出条件	またよ
<input type="checkbox"/>	受注コード	受注	✓				
<input type="checkbox"/>	得意先コード	受注	✓				
<input type="checkbox"/>	社員コード	受注	✓				
<input type="checkbox"/>	受注日	受注	✓				
<input type="checkbox"/>	得意先名	得意先	✓				
<input type="checkbox"/>	氏名	社員	✓				

```

SELECT 受注.受注コード, 受注.得意先コード, 受注.社員コード, 受注.受注日,
得意先.得意先名, 社員.氏名
FROM 得意先 INNER JOIN
受注 ON 得意先.得意先コード = 受注.得意先コード INNER JOIN
社員 ON 受注.社員コード = 社員.社員コード
    
```

⑩ 列名は手入力できますが、⑨のチェック・ボックスで列をチェックしてもグリッド・ペインとその下のSQL文に自動的に展開されます。得意先名と氏名以外は、「受注」テーブルの列です。

⑪ このテーブル・ペインに置いたテーブルは、リレーション・シップにより自動的にJOINされてしまいます。そのため、ここに余分なテーブルを置いてはいけません。

自動生成されたSQL文です。



保存してね。

この画面を終了する際、警告がでますが、保存して終了します。

34ページの④に戻りました。⑫には作成したSQL文の末尾を表示しています。

どこか別の項目をクリックすると確定され、⑬「SELECT・・・」になります。

The screenshot shows two windows of the Access 2002 Form Design view. The top window, labeled 12, shows the 'レコードソース' (Record Source) property set to 'dbo.社員社員コード'. The bottom window, labeled 13, shows the 'レコードソース' property set to 'SELECT 受注受注コード;'. A character is holding a sign that says 'レコードソース' and another character is holding a bottle labeled 'ソース' (Source).

更新するテーブルを指定しないと、レコードの追加ができません。

2. 固有テーブルの設定

レコードソースに複数のテーブルを設定すると、「固有のテーブル」欄にそれらテーブルの一覧がでます。「受注」テーブルを選択します。

The screenshot shows the '固有のテーブル' (Own Tables) property in the Access 2002 Form Design view. The list includes '受注' (Orders), '得意先' (Customers), and '社員' (Employees). The '受注' table is selected. A character is pointing to the '受注' table with a sign that says '受注'.

それが主役か、このさ、はっきりさせようではないか。

あんたが主役：おっさん
固有のテーブル：受注

「受注」テーブルはトランザクション・テーブル、他の2つはマスター・テーブルです。

[第5話] Access 2002プロジェクトとSQL Server 2000

フォームのプロパティ画面を終了しました。フィールド・リストに、レコードソースの列名が表示されました。

フィールドリストの列名を台紙上にドラッグすると、列と連結されたテキスト・コントロールボックスになります。

タイトルに注目してもらおう「Select...」だ。

①

レコードソース

SQL Server

Access

結果セット

フォーム

受注コード

テキストボックス

②

受注コード

得意先コード

社員コード

受注日

得意先名

氏名

5つのフィールドを台紙にドラッグしました。得意先名と氏名のラベルは削除し、それぞれのコードの右に配置しました。

名前を付けて保存

フォーム名(N):
F_受注

③

「F_受注」という名前を付けて保存しました。



得意先名と氏名は入力できないよ。だから必要がない。

「F_受注」フォームができました。これをメイン・フォームにします。サブ・フォームを作った後で、もう少し手を加えます。

北風商会: プロジェクト - 北風商会 (Access)

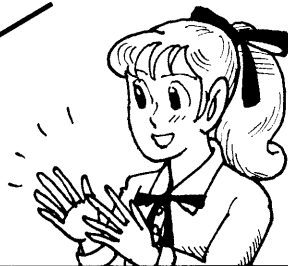
開く(O) デザイン(D) 新規作成(N)

オブジェクト

- テーブル
- クエリ
- データベースダイアグラム
- フォーム

④

F_受注

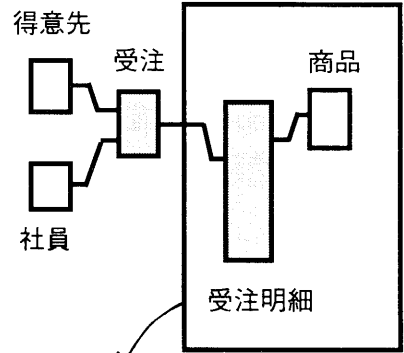


このフォームはまだ未完成なので表示はさせません。

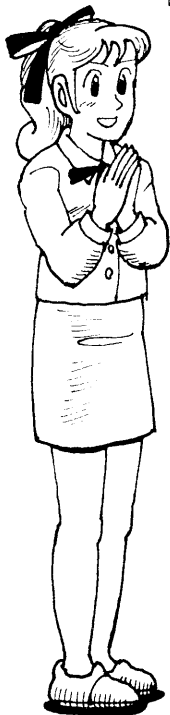
3. サブ・フォームの作成

同様に、サブ・フォーム用のフォームを作成します。途中を省略して、レコードソースをビルド中の画面から始めます。

この2つです。



ごめんなさい、紙面のつごうです。



設定とSQL文を比較すると参考になる。

SQL ステートメント・クリエーター

1

列	別名	テーブル	出力	並べ替え
受注コード	注1	受注明細	✓	
商品コード		受注明細	✓	
単価	売単価	受注明細	✓	
数量		受注明細	✓	
割引		受注明細	✓	
商品名		商品	✓	
単価		商品	✓	
在庫		商品	✓	
受注明細単価 * 受注明細数量	金額		✓	

```

SELECT 受注明細.受注コード, 受注明細.商品コード, 受注明細.単価 AS 売単価,
       受注明細.数量, 受注明細.割引, 商品.商品名, 商品.単価, 商品.在庫,
       受注明細.単価 * 受注明細.数量 AS 金額
FROM 受注明細 INNER JOIN
     商品 ON 受注明細.商品コード = 商品.商品コード
    
```



注1：受注コードは、サブ・フォームでは使いませんがメイン・フォームとリンクするフィールドなので、選択が必須です。

注2：「単価」が2つあるので、片方には別名をキー入力しました。

注3：金額フィールドを作りました。(演算フィールド)

別名に式：「受注明細.単価 * 受注明細.数量」 別名：「金額」

①を保存、終了してこの画面です。

②

③

【フォームのプロパティ】

固有のテーブルに「受注明細」を設定しました。

次に「書式」タブの「既定のビュー」を「データシート」に変更します。これで、サブ・フォームとして表示した時にデータシート形式で表示できます。

④

こんな感じ

伸縮自在の手足は

フォームのデザイン・ビュー

データシート・ビューでは、列の表示順序がフィールド・リストから表紙に貼り付けた順になります。

⑤

「データシートビューではどんな配置でもいいんだ。」

「たまたまはいいんだけど、列の順番は、このようにしたい方が。」

「ほら、よくしよう。」

在庫: 在庫